

地盤調査資料（ボーリング柱状図等）の閲覧方法

この資料には、①東京都土木技術支援・人材育成センターが公開しているボーリング柱状図（「東京の地盤」Web版）、②各区市町村が保有するボーリング柱状図、③東京都港湾局から提供されたボーリング柱状図（臨海部のみ）を収録しています。

この地盤調査資料であるボーリング柱状図を見ることにより、調べたい場所における地盤の地層構成や各地層の硬軟、地下水位（ボーリング孔内水位）を読み取ることができます。

調べたい場所の近隣のボーリング柱状図の閲覧方法は、以下とおりです。

- 各区市町村の区画割図から調べたい場所に該当する地図番号を確認する。
- 該当する地図番号のボーリング調査位置図から調べたい場所を確認し、最寄りのボーリング柱状図番号を読み取る。
- ボーリング柱状図はその番号の色によって閲覧先が異なります。
 - ① 支援・人材育成センターが公開しているボーリング柱状図（「東京の地盤」Web版）
：赤色「OO-OO_O」と表記。
 - ② 各区市町村が保有するボーリング柱状図資料
：青色「OOOOOOO」と7桁で表記。
 - ③ 東京都港湾局から提供されたボーリング柱状図
：緑色「POOOO」と表記。

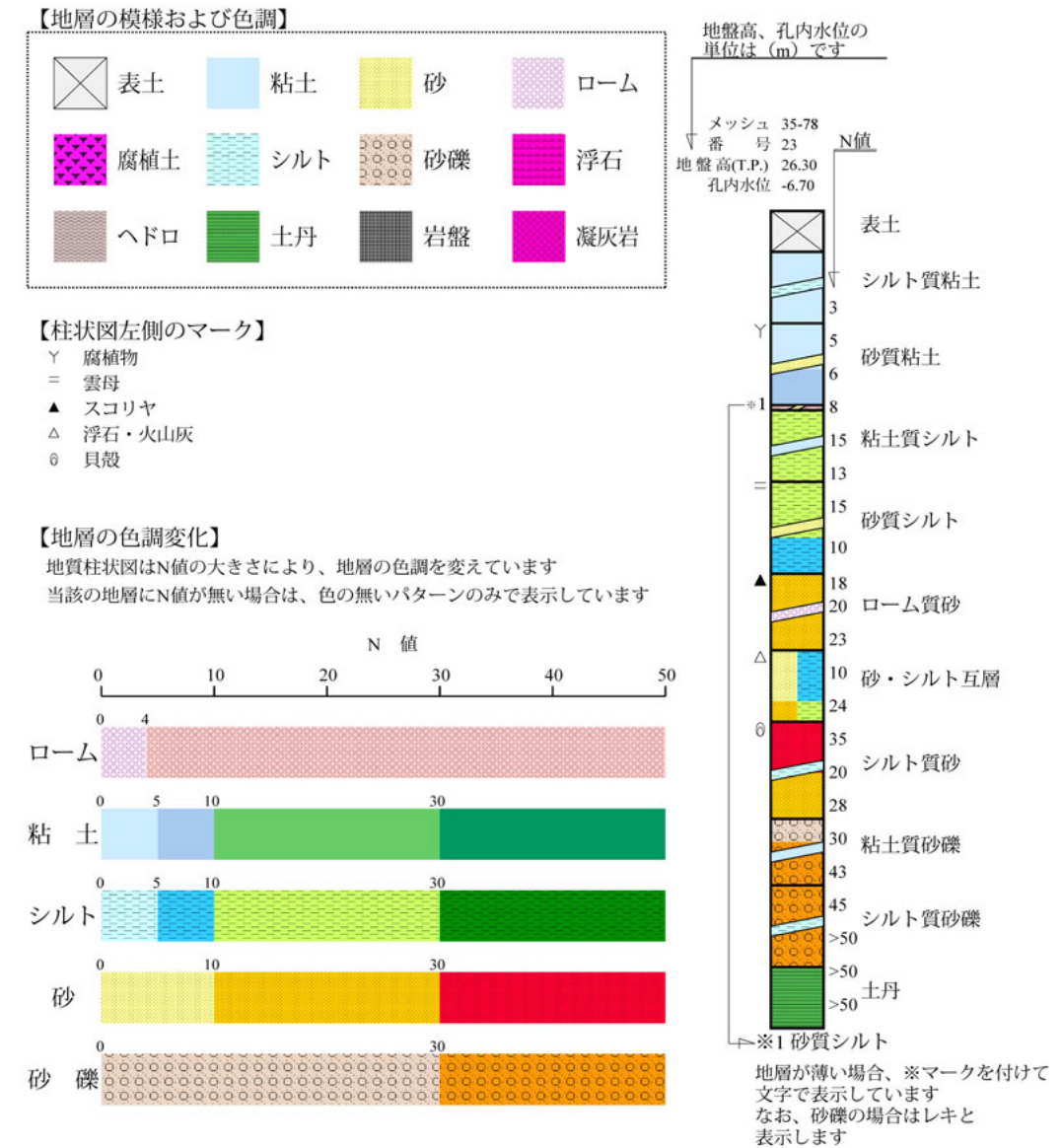
既存の地盤調査資料（ボーリング柱状図）を閲覧することによって、その土地の性状の概要がわかります。

また、土地の液状化しやすさについても、ボーリング柱状図からその概略を把握することができます。

ボーリング柱状図は、右の図の表記例に示すように地下水位（ボーリング孔内水位）の高さと、土質の種類（土質名）及び地盤の硬軟や締まり具合を示すN値を地表面から深さ方向に示しています。

一般的に、地下水位が浅い位置にあり、N値が小さい（10～20以下）砂質土層は、液状化の発生の危険度が高いとされています。

ボーリング柱状図の凡例（各柱状図共通）



東京都土木技術支援・人材教育センター「東京の地盤」web版より

注) 区市町村で実施したボーリング資料における地盤高は、調査時のボーリング孔口の任意の基準点からの高さを表しており、現況の地盤高と異なる場合があります。